

平成 28 年度島根県学力調査

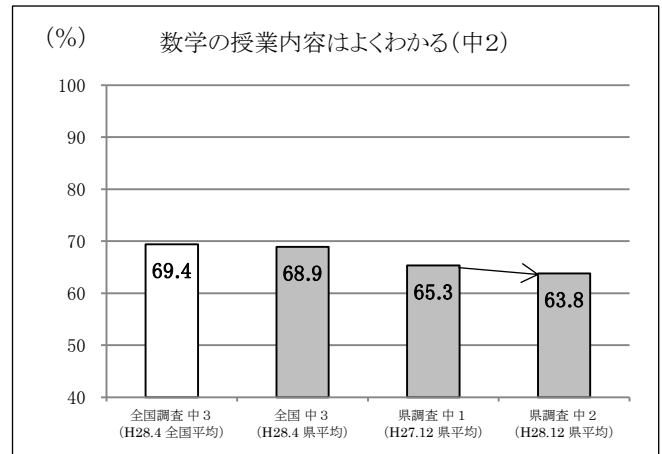
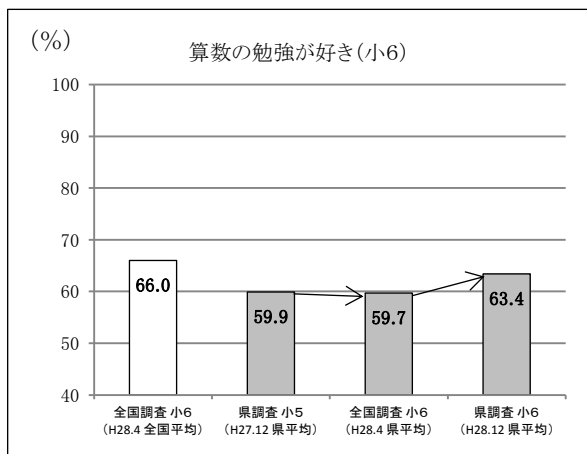
生活・学習に関する意識調査結果概要

1 生活・学習に関する意識調査結果概要

- 学習に対する関心・意欲・態度
「算数の勉強が好き」「算数の授業の内容はよく分かる」など、算数の勉強についての質問における肯定的な回答は、全国と比較すると依然低い状況だが、少しずつ改善してきている。
- 学習習慣
平日に授業以外に1時間以上勉強する生徒の割合が、特に中学生で低い状況が改善していない。
- 授業改善の状況
授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動や、授業の最後に振り返りを行う割合は増えてきている。「ノートに学習の目標とまとめを書いていたと思う」率も全国を上回っている。

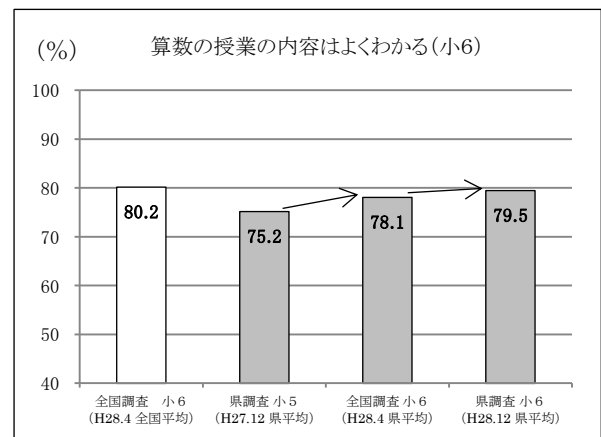
2 全国学力・学習状況調査で特に課題がみられた項目の状況（小6と中2を中心に）

(1) 学習に対する関心・意欲・態度



小6の「算数の勉強が好き」「算数の授業の内容はよく分かる」の肯定的な回答率は、全国と比べて低い状況であるが、4月の全国調査時に比べ、それぞれ3.7ポイント、1.4ポイント上昇し、改善がみられた。

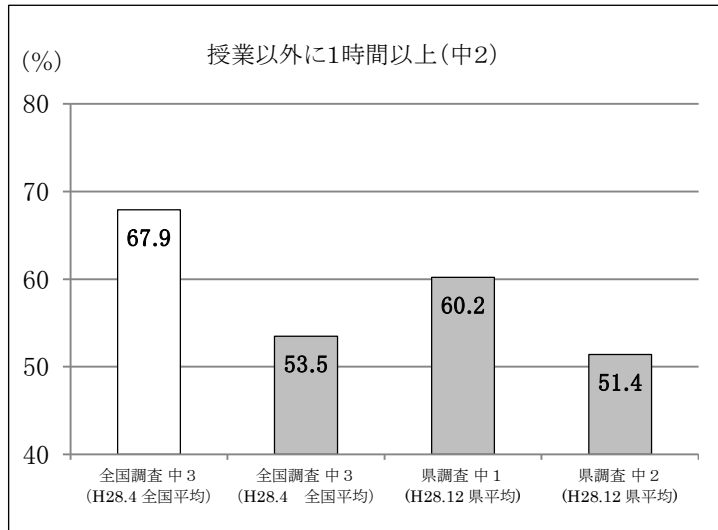
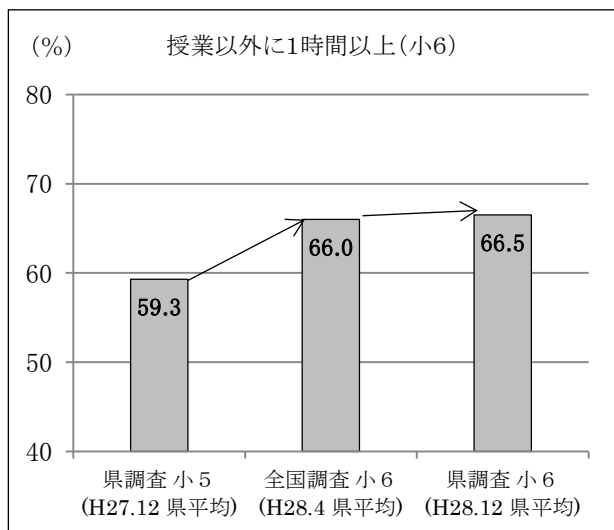
中2の「数学の授業の内容はよくわかる」の肯定的な回答率が63.8%で、全国調査時の中3の数値に比べて、5.6ポイント低い。「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」も6.9ポイント低くなっており、改善が必要である。



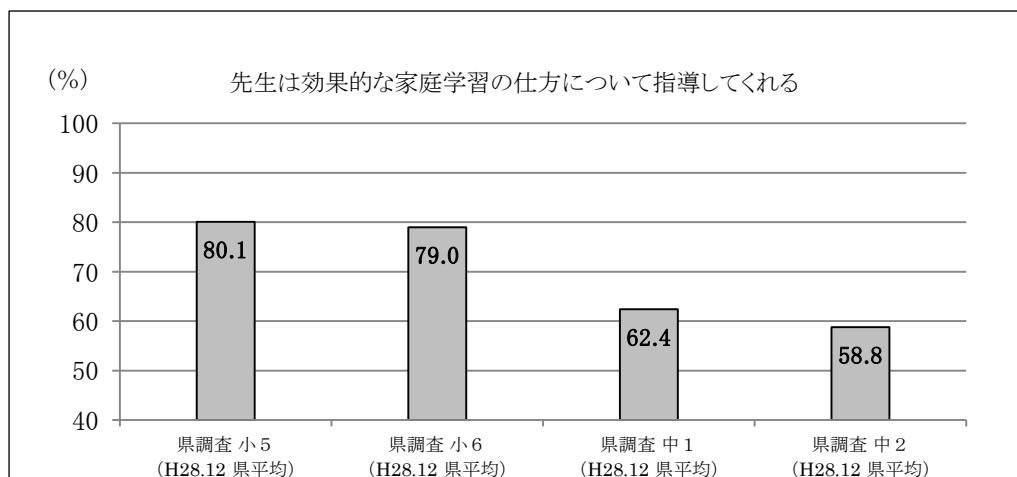
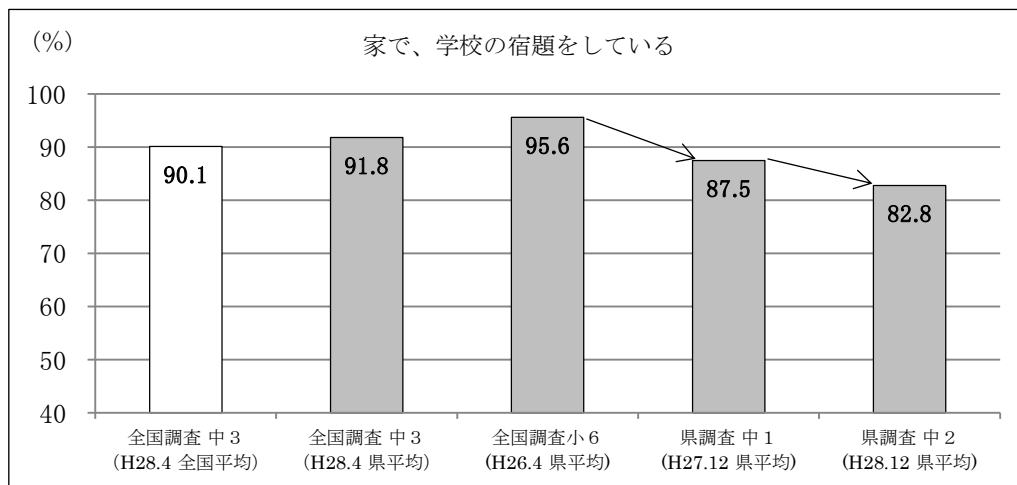
(2) 学習習慣

小6については、1時間以上学習する児童の割合が全国調査時に比べて0.5ポイント増加し、全国に比べても高くなっている。

中2で授業以外に1時間以上学習する生徒の割合は51.4%で、全国調査時の中3の数値と比べても低く、全国平均を大きく下回っている。「家で学校の宿題をしている」「家で、自分で計画を立てて勉強している」ことについて、中2の数値が全国調査時の中3の数値を下回っており、課題である。



「先生は効果的な家庭学習の仕方について指導してくれる」に肯定的な回答をした中1・中2は、小学校に比べて低くなっており課題である。中学校において、これまで以上に家庭学習についての丁寧な指導が必要である。

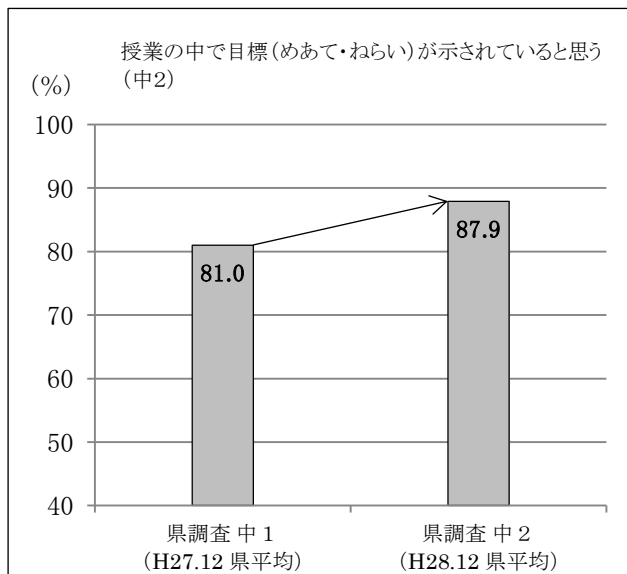
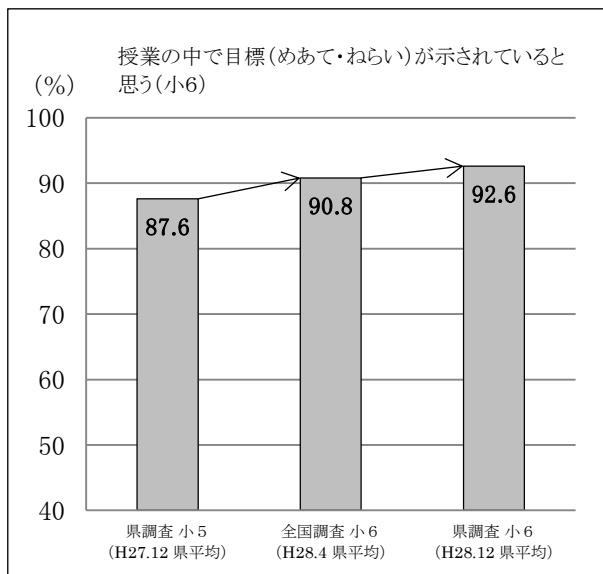


(3) 授業改善の状況

①めあて・振り返り学習

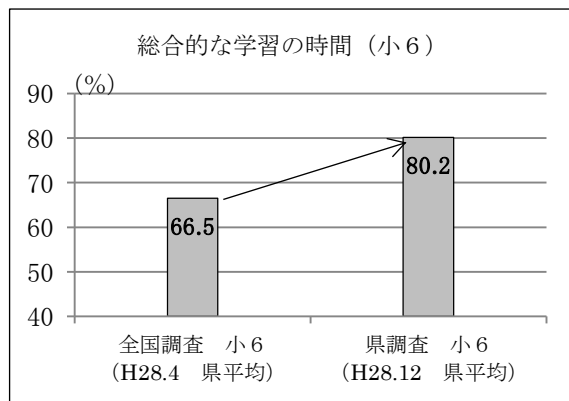
「授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思う割合」は、小6は全国調査時の数値から上昇している。中2も中1県調査時の数値から上昇している。「授業の最後に学習したことを振り返る活動」も4月の数値から改善傾向にあり、これらの活動が定着してきている状況にある。

「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていると思う」割合については、中2において、4月の全国調査の中3の全国値を上回り、改善の傾向が見られる。



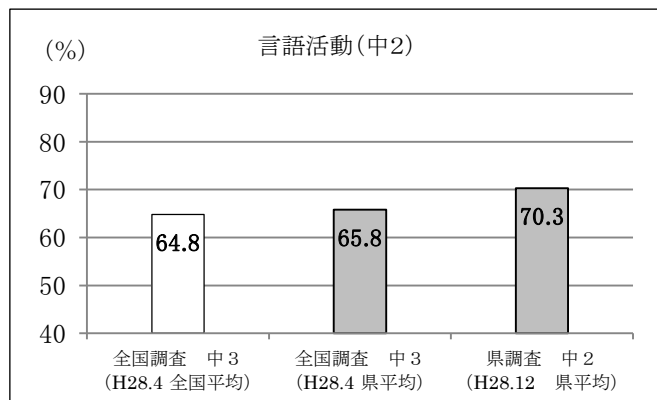
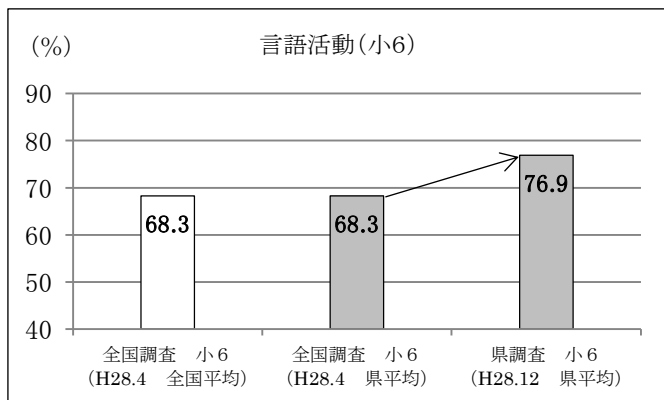
② 総合的な学習の時間の取組

「総合的な学習の時間では、集めた情報を課題に沿って整理し考え、発表する学習に取り組んでいる」において、小6が全国調査時の4月に比べて13.7ポイント増加している。



③ 言語活動

「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」について、小6は全国調査時から8.6ポイント増加している。中2も全国調査時の中3に比べて4.5ポイント高く、改善傾向にある。



3 その他の状況

【メディア利用】

携帯電話やスマートフォンの使用時間については、学年が上がるにつれて、増加している。

普段（月曜日から金曜日）、1日あたり、携帯電話やスマートフォン使っている割合
（左から「1時間以上」「1時間より少ない」「全くしない」割合）

